

大山崎町自主防災活動補助金 ～利用の手引き～



皆さまの「共助」で地域の防災力を高めましょう



令和5年4月 大山崎町総務部総務課危機管理係

☎956-2101 (内線331・332・333)

【はじめに】

大山崎町では、大山崎町自主防災活動補助金交付要綱に基づき、町内の自主防災組織に対して補助金を交付しています。

本手引きでは、同補助金の概要と手続きについてまとめておりますので、貴団体における自主防災活動にぜひお役立てください。

また、参考として、防災倉庫の設置場所や資機材の使用方法等についても掲載しておりますので、あわせてご活用ください。

【目次】

1 自主防災活動補助金について～ご利用の手引き～

- ・ 補助制度の概要 3ページ
- ・ 補助金の申請から交付までの流れ 4ページ
- ・ 申請書等の記載例 5ページ
- ・ 申請書等の様式（コピーしてお使いください。） 8ページ

様式は、町ホームページにも掲載しています。

2 参考－防災倉庫について－

- ・ 防災倉庫の設置場所 11ページ
- ・ 資機材の使用方法 12ページ
- ・ 防災倉庫に収納している資機材の種類等 12ページ

1 自主防災活動補助金について～ご利用の手引き～

補助制度の概要

町では、地域の自主防災活動を積極的に支援するため、自主防災組織が行う自主防災活動に要する経費に対して補助金を交付します。

<補助の対象>



自主防災組織が行う自主防災活動に要する経費とは？

| 自主防災活動の種類 | 補助対象となる経費 |
|-----------|---|
| 自主防災組織の運営 | 自主防災組織の運営に係る会議の開催や名簿の作成等に要した費用（ただし、人件費は除く。） |
| 防災勉強会 | 防災勉強会の実施に要した費用（ただし、旅費を除く。） |
| 防災知識の普及啓発 | 普及啓発用の資料等の作成に要した費用 |
| 防災訓練 | 初期消火訓練、救出訓練、避難訓練、炊き出し訓練等の実施に要した費用 |
| 防災資機材等の整備 | 防災目的の倉庫、資機材、消火器、物資等の整備に要した費用（ただし、個人として整備するものを除く。）※当該年度に防災資機材等の整備費用について、他の補助金で交付決定又は支払がある場合には、補助対象外。 |

上記に適合するかどうかについては、あらかじめ町役場3階総務課危機管理係（☎956-2101内線331・332・333）までご相談ください。

<補助金の額>

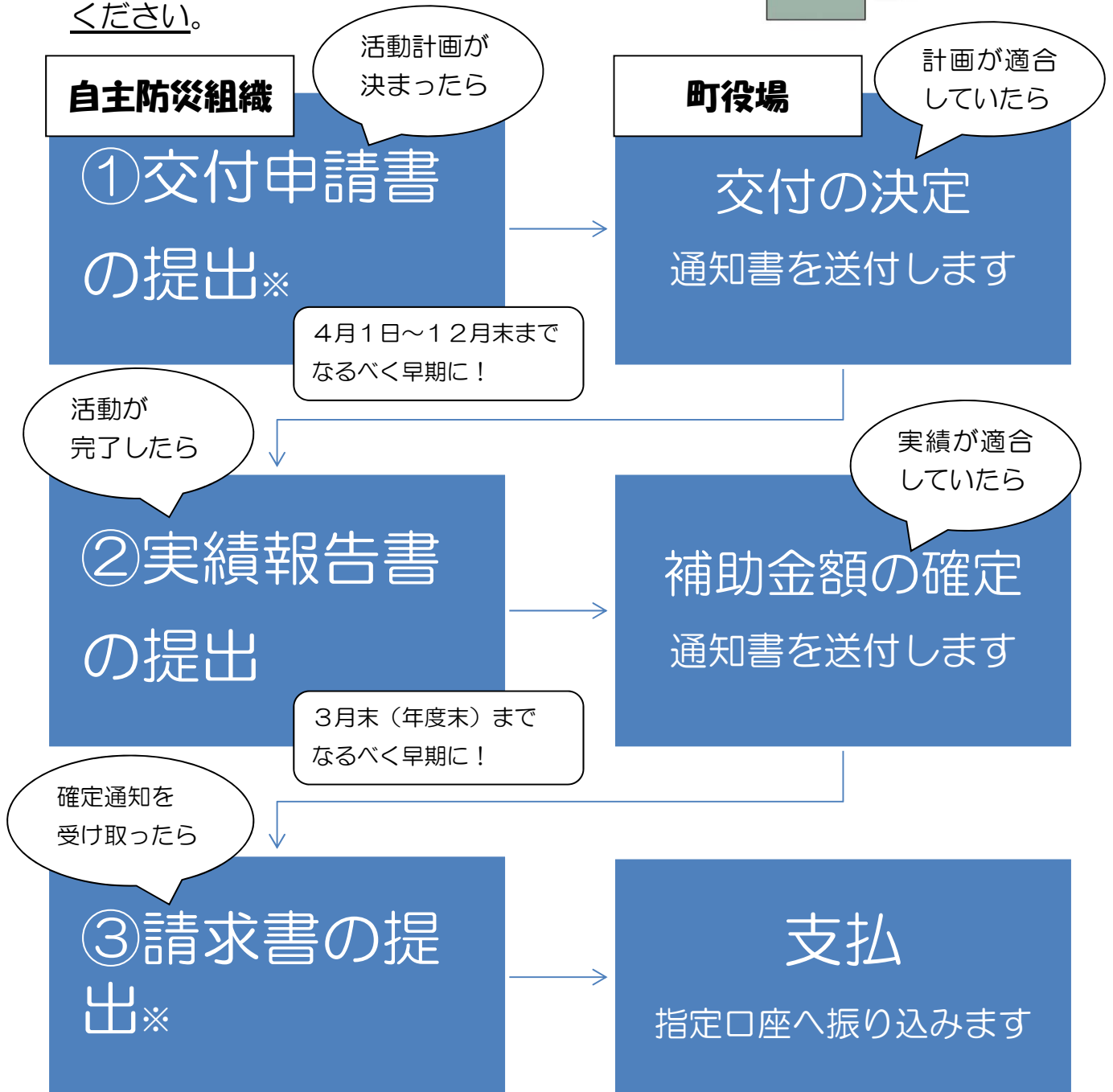
| 自主防災活動経費の額 | 補助金の額 | 備考 |
|--------------|--|----------|
| 1円以上3万円以下の場合 | 全額 | 1円未満切り捨て |
| 3万円超の場合 | 基本額3万円 + 加算額※ (ただし、上限10万円まで) ※加算額の算定方法 (自主防災活動経費の額 - 3万円) × 1/2 | |

◎指定避難所を利用した防災訓練を行う場合の施設利用料は、別途5千円を上限として全額補助
(例)

| 活動経費 | 補助金額 | 補助金の算定方法 |
|----------|----------|--|
| 25,000円 | 25,000円 | =活動経費 |
| 50,000円 | 40,000円 | 30,000 + (50,000 - 30,000) / 2 = 40,000 |
| 160,000円 | 95,000円 | 30,000 + (160,000 - 30,000) / 2 = 95,000 |
| 300,000円 | 100,000円 | 30,000 + (300,000 - 30,000) / 2 = 165,000 ただし、10万円が上限額のため、補助金額は10万円 |

補助金の申請から交付までの流れ

補助金を利用される自主防災組織は、各年度ごとに、次のとおり①～③の手続きを行ってください。



※①の交付申請後、活動経費が申請額を上回る見込みとなった場合は、変更交付申請が必要です。

※③の請求について、補助金の概算払（前払い）を希望される場合、②の実績報告前に請求することも可能です。

上記の場合は、危機管理係までご連絡ください。

この様式に各年度の活動経費（予定）を記載してください

申請書の記載例

様式第1号（第5条関係）

年 月 日

大山崎町長 殿

住 所 **大山崎町字円明寺小字夏目3**
申請者 自主防災組織の名称 **おおやまざき自主防災会**
代表者氏名 **大山崎 小太郎** 印

年度自主防災活動補助金交付申請書

大山崎町自主防災活動補助金交付要綱第5条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額

| | | |
|--------|---|----------------|
| 交付申請額 | 金 | 35.000円 |
| 補助対象経費 | 金 | 40.000円 |

30,000+(補助対象経費-30,000)÷2
だから...

2 補助対象経費に係る自主防災活動計画の概要

| 活動の名称 | 運営会議 | 防災勉強会 | 防災訓練 |
|------------------|---|---|--|
| 実施予定日時 | 6月～3月(3回) | 8月頃 | 11月頃 |
| 参加予定人数 | 毎回約5名 | 約35名 | 約70名 |
| 活動計画概要 | 第1回(6月) 防災勉強会の打合せ 第2回(9月) 防災訓練の打合せ 第3回(2月) 今年度の総括 来年度の計画 | 町内の危険箇所を 歩いて点検(1時 間) 町の出前講座受講 義(1時間) | 初期消火訓練 避難訓練 炊き出し訓練 訓練兼備蓄用資機 材購入 |
| 予算金額 (補助対象経費) | 2.000円 | 15.000円 | 23.000円 |

予算金額の目安は役場にご相談ください

※上表に記載できない場合は、同じ内容を記載した別紙を添付すること。

3 添付書類

- (1) 自主防災組織規約等の写し
- (2) その他町長が必要と認める書類

最新の規約等をお忘れなく

この様式に各年度の活動経費（実績）を記載してください

実績報告書の記載例

様式第6号（第11条関係）

年 月 日

大山崎町長 殿

住 所 **大山崎町字円明寺小字夏目3**
 報告者 自主防災組織の名称 **おおやまざき自主防災会**
 代表者氏名 **大山崎 小太郎** ㊞

年度自主防災活動実績報告書

年〇月〇日付けで交付決定（変更交付決定）のありました 年度自主防災活動補助金について、大山崎町自主防災活動補助金交付要綱第11条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

1 交付申請額

| | | |
|-------------|---|----------------|
| 実績報告額 | 金 | 32,500円 |
| 交付（変更交付）決定額 | 金 | 35,000円 |

最終交付申請額を記入 記

$30,000 + (\text{補助対象経費 } 35,000 - 30,000) \div 2$ だから...

2 補助対象経費に係る自主防災活動実績の概要

| 活動の名称 | 運営会議 | 防災勉強会 | 防災訓練 |
|----------|--|--|---|
| 実施日時 | 6月1日・9月1日・2月1日 | 8月10日(日)9~11時 | 11月9日(日)9~13時 |
| 参加人数 | 毎回5名 | 35名 | 70名 |
| 活動実績概要 | 第1回(6月1日19時~) 防災勉強会の打合せ 第2回(9月1日19時~) 防災訓練の打合せ 第3回(2月1日19時~) 今年度の総括 来年度の計画 | 町内の危険箇所を歩いて点検 町の出前講座受講 「台風第18号の教訓」について | 初期消火訓練 避難訓練 炊き出し訓練 訓練兼備蓄用資機材購入 |
| 補助対象経費内訳 | 2,500円 内 会場使用料 900円 資料コピー代 600円 お茶代 1,000円 | 4,000円 内 会場使用料 500円 資料コピー代 1,000円 お茶代 2,500円 | 28,500円 内 食材費 16,500円 大鍋・カセットコンロ代 7,000円 お茶代 5,000円 |

詳細は別紙のとおり

※上表に記載できない場合は、同じ内容を記載した別紙を添付すること。

3 添付書類

- 補助対象経費に係る領収書等の写し
- その他町長が必要と認める書類

必ず領収書等の写しを添付してください
 (領収書等のない経費は補助の対象になりません)

請求書の記載例

様式第8号（第13条関係）

年 月 日

大山崎町長 殿

住 所 **大山崎町字円明寺小字夏目3**
請求者 自主防災組織の名称 **おおやまざき自主防災会**
代表者氏名 **大山崎 小太郎** ㊞

年度自主防災活動補助金請求書

年度自主防災活動補助金について、大山崎町自主防災活動補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり請求します。

記

1 補助金請求額 金 **32,500**円

2 振込希望先

| | | | |
|-------|--|------|----------------------|
| 金融機関 | 天王山銀行 | 店名 | 淀川支店 |
| 口座種別 | 普通 ・ 当座 | 口座番号 | 1 2 3 4 5 6 7 |
| 口座名義人 | (フリガナ) オオヤマザキジシユボウサイカイカイケイオトクニジロウ | | |
| | おおやまざき自主防災会 会計 乙訓 次郎 | | |

※ 口座名義人は、自主防災組織又は町内会、自治会に限る。

大山崎町長 殿

住 所
 申請者 自主防災組織の名称
 代 表 者 氏 名 ㊟

年度自主防災活動補助金交付申請書

大山崎町自主防災活動補助金交付要綱第5条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額

| | | |
|-------------|---|---|
| 交 付 申 請 額 | 金 | 円 |
| 補 助 対 象 経 費 | 金 | 円 |

2 補助対象経費に係る自主防災活動計画の概要

| | | | |
|--------------------------|--|--|--|
| 活 動 の 名 称 | | | |
| 実 施 予 定 日 時 | | | |
| 参 加 予 定 人 数 | | | |
| 活 動 計 画 概 要 | | | |
| 予 算 金 額 (補 助 対 象 経 費) | | | |

※上表に記載できない場合は、同じ内容を記載した別紙を添付すること。

3 添付書類

- (1) 自主防災組織規約等の写し
- (2) その他町長が必要と認める書類

大山崎町長 殿

住 所
報告者 自主防災組織の名称
代 表 者 氏 名

㊞

年度自主防災活動実績報告書

年 月 日付で交付決定（変更交付決定）のありました 年度自主防災活動補助金について、大山崎町自主防災活動補助金交付要綱第11条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 交付申請額

| | |
|-------------|-----|
| 実 績 報 告 額 | 金 円 |
| 交付（変更交付）決定額 | 金 円 |

2 補助対象経費に係る自主防災活動実績の概要

| | | | |
|---------------|--|--|--|
| 活 動 の 名 称 | | | |
| 実 施 日 時 | | | |
| 参 加 人 数 | | | |
| 活動実績概要 | | | |
| 補助対象経費 内 訳 | | | |

※上表に記載できない場合は、同じ内容を記載した別紙を添付すること。

3 添付書類

- (1) 補助対象経費に係る領収書等の写し
- (2) その他町長が必要と認める書類

大山崎町長 殿

住 所
請求者 自主防災組織の名称
代 表 者 氏 名 ㊞

年度自主防災活動補助金請求書

年度自主防災活動補助金について、大山崎町自主防災活動補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり請求します。

記

1 補助金請求額 金 円

2 振込希望先

| | | | |
|-------|--------|------|--|
| 金融機関 | | 店 名 | |
| 口座種別 | 普通・当座 | 口座番号 | |
| 口座名義人 | (フリガナ) | | |
| | | | |

※ 口座名義人は、自主防災組織又は町内会、自治会に限る。

2 参考—防災倉庫について—

町では、一時避難所などに指定している公園22か所と町有地2か所、民有地1か所の合計25か所に、防災資機材を収納した防災倉庫を設置しています。

災害時には、自主防災組織の皆さまが、防災倉庫の資機材を使用して初期消火や救出などの活動を行ってください。

また、いざというときのために、平常時の自主防災訓練においても、同資機材を活用してください。

《設置場所》

(令和5年4月1日現在)

| 番号 | 設置場所 | 所在地 | 設置年月 |
|----|------------|-------------------|----------|
| 1 | 谷田公園 | 字大山崎小字谷田77番地の67 | 平成22年3月 |
| 2 | 鏡田中央公園 | 字大山崎小字鏡田24番地の17他 | 平成22年3月 |
| 3 | 鏡田北公園 | 字大山崎小字鏡田31番地 | 平成22年12月 |
| 4 | 東和苑公園 | 字大山崎小字広敷1番地の25 | 平成22年3月 |
| 5 | 西高田公園 | 字大山崎小字西高田6番地の74 | 平成22年12月 |
| 6 | 葛原公園 | 字円明寺小字葛原6番地の116 | 平成22年12月 |
| 7 | 若宮前公園 | 字円明寺小字若宮前10番地の97他 | 平成22年12月 |
| 8 | 円明寺が丘中央公園 | 字円明寺小字殿山1番地の132他 | 平成22年3月 |
| 9 | 殿山公園 | 字円明寺小字殿山1番地の128 | 平成22年12月 |
| 10 | 西法寺公園 | 字円明寺小字西法寺1番地の34他 | 平成22年3月 |
| 11 | 北浦公園 | 字円明寺小字小倉口13番地の2他 | 平成22年12月 |
| 12 | 白山公園 | 字下植野小字宮脇18番地の3他 | 平成22年3月 |
| 13 | 鏡田東部公園 | 字大山崎小字鏡田1番地1 | 平成24年2月 |
| 14 | 早稲田公園 | 字大山崎小字早稲田13番地23 | 平成24年2月 |
| 15 | 五位川公園 | 字大山崎小字鉄東6番地 | 平成24年2月 |
| 16 | 金蔵公園 | 字円明寺小字金蔵4番地4 | 平成24年2月 |
| 17 | 寺門公園 | 字下植野小字寺門25番地1 | 平成24年2月 |
| 18 | 西法寺町有地 | 字円明寺小字西法寺40番地 | 平成24年2月 |
| 19 | 鏡田第二公園 | 字大山崎小字鏡田20番地27 | 平成24年6月 |
| 20 | JR駅前空き地 | 字大山崎小字西谷24番地 | 平成24年6月 |
| 21 | 茶屋前公園 | 字大山崎小字茶屋前19番地6ほか | 平成25年3月 |
| 22 | 二階下公園 | 字下植野小字二階下1番地2の一部 | 平成26年2月 |
| 23 | 尻江第三公園 | 字大山崎小字尻江13番地1 | 平成26年2月 |
| 24 | 高橋公園 | 字大山崎小字尻江71番地5 | 平成26年2月 |
| 25 | 円明寺フラワーハイツ | 字円明寺小字鳥居前48番地1 | 平成26年11月 |

《使用方法》

- (1) 防災倉庫の鍵（各倉庫共通）は、近隣の町内会・自治会長又は自主防災会長に配布しています。※
- (2) 災害時には、各自主防災組織、町内会・自治会は、防災倉庫内の資機材を使用できます。
- (3) 平常時には、各自主防災組織、町内会・自治会は、防災訓練を行う場合に限り資機材を使用できます。
- (4) 自主防災会長等が変更となった場合は、鍵の保管者となるべき後任者に速やかに鍵を引き継いでください。
- (5) 資機材を使用した後は、必ず数量を確認して防災倉庫に返却してください。
- (6) いかなる理由があっても私用で資機材を使用してはいけません。
- (7) 平常時の防災訓練で資機材が破損した場合は、速やかに町に連絡してください。
- (8) 設置目的外その他不適切な使用により、資機材又は防災倉庫が破損した場合、原状回復に要する費用は自主防災組織又は町内会・自治会に負担していただきます。

※西法寺公園の防災倉庫のみ鍵が異なりますのでご注意ください。

《資機材の種類等》

資機材の種類、数量については、次のとおりです。

| 資機材の種類 | 数量 | 資機材の種類 | 数量 |
|---------|----|--------------|-----|
| ハンマー | 5 | 消火バケツ | 20 |
| ボルトカッター | 5 | のこぎり | 5 |
| カケヤ | 5 | ジャッキ | 3 |
| スコップ | 5 | ビニールシート | 20 |
| テコ | 5 | バール | 5 |
| ツルハシ | 5 | 担架（布製担架含む） | 2～4 |
| 斧 | 5 | 懐中電灯（手回し充電式） | 5 |
| ヘルメット | 5 | 軍手 | 30 |
| メガホン | 5 | | |

※倉庫のサイズ等が異なる一部の防災倉庫を除く

